

工事名 青山グラウンド便所改修工事
I 工事概要
1. 工事場所 伊賀市 奥鹿野 地内
2. 工事内容 下記の事項に準ずる
<1-1>
機械設備工事: 既設形式便器から非既設形式洋式便器化。小便器自動洗浄化、既設手洗い自動水栓化。
II 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○の付いたものを適用する。
(3)特記事項に記載の( )内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

⑦ 発生材の処理等
・引き渡しを要するもの( ) (1.3.8)
・特別管理産業廃棄物 ※有( ) 処理方法( )
・現場において再利用を図るもの( )
・再生資材の利用を図るもの
・アスファルトコンクリート塊
・セメントコンクリート塊
・建設発生木材
・引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。
⑧ 建築材料等
※本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」(最新版) (以下「評価名簿」という)及び別記記載の資材及び見取りメーカー (参考)又はこれらと同等とする。
品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
また、建設工事を得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。
⑨ 施工中の安全管理
※接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発生した化学物質等を室外へ放出させること。
10 施工数量調査
調査範囲 ※図示 (1.5.2)
調査方法 ※図示
11 調査のための破壊部分の修繕
補修方法 ※図示 (1.5.3)
12 技能士
※職種別に可能なものについては積極的に活用すること。 (1.6.2)
13 化学物質の濃度測定
※測定する (測定しない) (1.6.6)
※測定対象化学物質 (○で示したものをとする。)
ホルム アルデヒド トルエン キシレン スチレン エチルベンゼンパラジクロロベンゼン その他 ( )
※測定対象室及び測定箇所数:
※測定方法 (※パッシング法・アクティブ法)
※報告書 2部
14 特別な材料の工法
※公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑩騒音・振動の防止
※低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。
⑪排出ガス対策建設機械の使用
※排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。
⑫工事写真
着工時 - 敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。(E版1部)
工事中 - 進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠えり又は埋設される部分は縮写体に市広テープを添えて撮影する。(E版1部)
⑬完成図
※作成する (※完成図・保安に関する資料) (1.8.2)
※完成図作成範囲 (すべての図面)
完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
C A Dによる作成 (※要・不要)ただし、作成できない場合は監督員との協議による。
C A Dデータの提出 (※要・不要)ただし、提出できない場合は監督員との協議による。

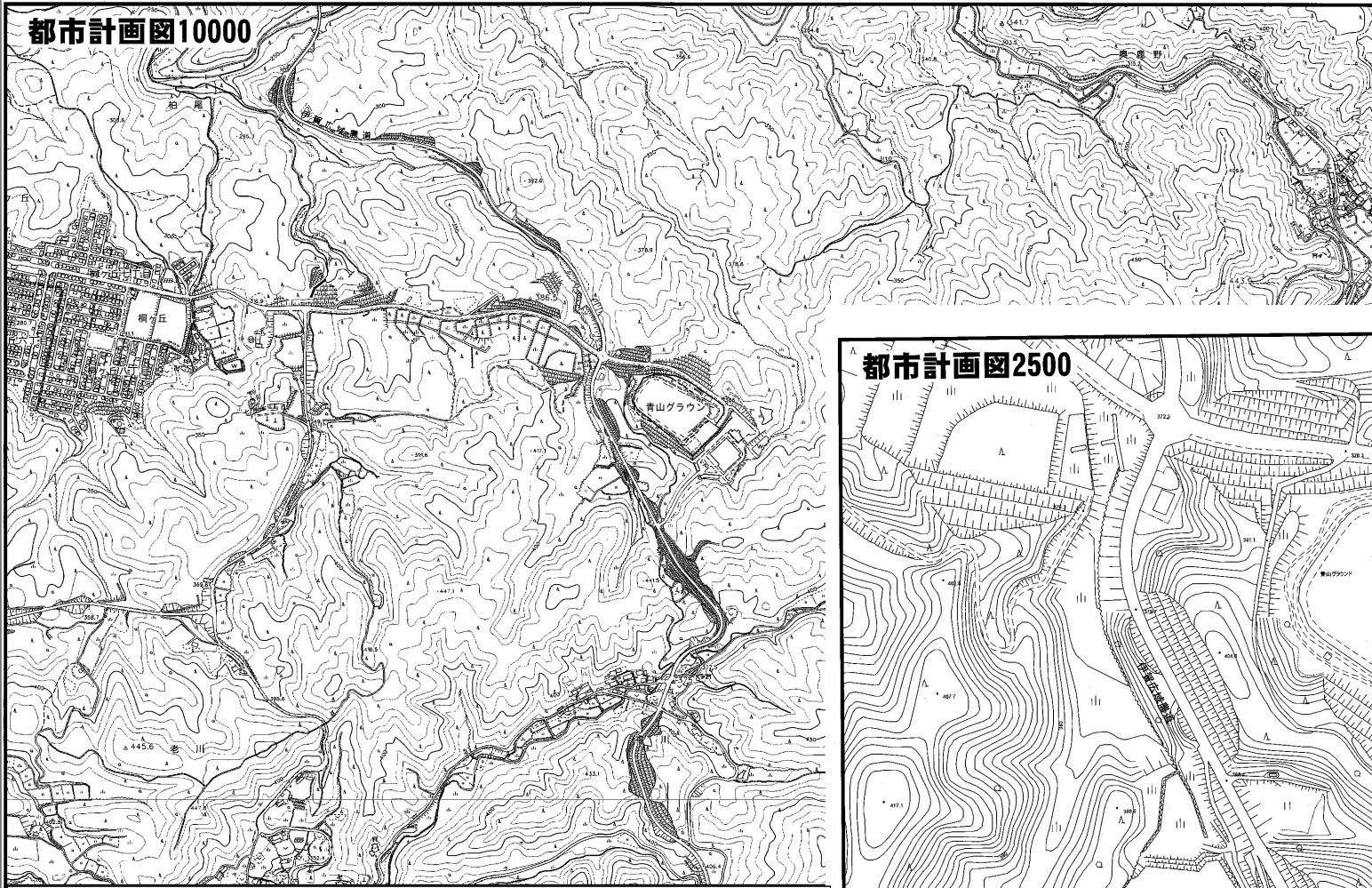
⑮ 完成写真
※台紙貼り1部 (30×40×2版)
・76×11部 (大きき335mm×290mm程度、30×40×2版)
※箇所数は外観4面各重2面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
⑯ 設備工事との取合い
施工範囲
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
※自動閉鎖機構取り付け箇所切込み及び補強
※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ
施工範囲
設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
⑰養生その他
工事施工に際し、在来部分を汚損した場合は撤去又は損傷した場合は、構造・仕上げ共に在来にならない補修する。
⑱ 事故報告
工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
2 仮設工事
1 外部足場
くさび式組立足場 (2.2.1) (表2.2.1)
外足場用の防護シート等による養生 ※適用する ・適用しない (2.2.1)
2 材料、撤去
種類・A種・B種・C種・D種・E種 (表2.2.2)
3 既存アスファルト等の養生
養生方法 ※塗替え改修部は、30分(脱着(1-4)分)とする。 (2.3.1)
保管場所 ※構内既存施設内
4 仮設間仕切り
・A種・B種 ※C種 (2.3.2) (表2.3.1)
合板又は石こうボードの塗装 ・行わない
5 監督員事務所
・構内建物内の一部を使用する。 (2.4.1)
・設置する
監督員事務所等の規模(単位:m)
面積 ・15㎡程度 ・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度
監督員事務所の仕上げ
部位等 仕上げ
床 合板張り又は2×4材(3)張り
内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂FRP張り
屋根 装着樹脂屋根・又は鉄板張り、鋼合板張り
※設けない
6 監督員事務所等の備品等
・机椅子・書棚黒板・製図板・掛け時計・温度計 (2.4.1) (b)
・ゴム長靴・雨カッパ・保護帽・懐中電灯
・加入電話の付属携帯電話(受話器が本電話機を設置する場合)
・衣類ロッカー・冷暖房機器・消火器・湯沸器・掃除機
7 危険物貯蔵所
※塗料、油類等の引火性材料の貯蔵等は関係法令等に促す適切な規模、構造、設備を備えたものとする。尚、やむを得ず工事的な一部の置場として使用する場合には監督員からの承諾を受ける。 (2.4.2)
8 受注者事務所
※設置する
受注者事務所等の規模(単位:m)
㎡程度 ・面積指定なし (2.4.1) (2.4.3)
9 材料倉庫
㎡程度
10 交通誘導員
・配置する (日 × 人 = 人) ・配置しない
① 仮設便所
※水洗式: 洋式大便器3、小便器2、手洗台2 (施設利用者・職員用各々)、程度
※トイレ改修期間 90日間 設置する事。
② 工事用水
構内既存の施設 ○利用できない ○有償 ・無償 ※利用できない
③ 工事用電力
構内既存の施設 ○利用できない ○有償 ・無償 ※利用できない

5 建具改修工事
1 改修工法
・かぶせ工法 (・カバー工法・持出し工法・ノンシール工法) (5.1.3)
・撤去工法 (※はかり工法・引抜き工法)
2 見本の製作
・製作する ・製作しない (5.1.5)
3 ブラインドカーテンボックス等
※再使用する (図示による ※一部、撤去) ※再使用しない (5.1.6(a))
4 76×11 製建具
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (5.2.2) (表5.2.1)
種類 別 耐風圧性 気密性 水密性 備考
・A種 S-4 A-3 W-4 持の見込み寸法 70mm
・B種 S-5
・C種 S-6 A-4 W-5 持の見込み寸法 100mm
種類 別 遮音性 種類 別 断熱性
・防音ドアセット ・断熱ドアセット
・防音サッシ ・断熱サッシ
種類 別 遮音性 種類 別 断熱性
・耐震ドアセット
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 (表5.2.2)
種類 別 表面処理 規格番号 種類
・A-1 無着色陽酸化皮膜 JIS H8601 AA 1 5
・A-2 着色陽酸化皮膜
※B-1 無着色陽酸化皮膜複合皮膜 JIS H8602 B
・B-2 着色陽酸化皮膜複合皮膜
・C-1 無着色陽酸化皮膜 JIS H8601 AA 6
・C-2 着色陽酸化皮膜
・D 化成皮膜の上に塗装 JIS H4001
5 網戸
防虫網の材質 (5.2.3(a))
・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製
網目
・1.6メッシュ ・1.8メッシュ
6 網製建具
網製建具の性能等級 (5.3.2) (表5.3.1)
種類 別 気密性 水密性
種類 別 遮音性 種類 別 断熱性
7 シーリング
種類及び施工箇所:
・種類は標準仕様書表3.7.11により施工箇所は下表による
○ トイレブース取付合い ○ SR-1
6 一般事項
既存間仕切り壁の撤去に伴う取付合い部分の改修範囲 (6.1.3(b))
改修部分 改修範囲
・天井 図示による
・壁 図示による
○床 図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う取付合い部分の天井改修範囲 (6.1.3(c)) (図示による)
天井の撤去に伴う取付合い部分の壁面改修 (6.1.3(f)) (図示による)
・行わない
2 既存床撤去、下地修繕
既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(a)(1))
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・行わない
合成樹脂塗料の除去等 (6.2.2(a)(2))
・機械的除去工法・目立工法
改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(c))
※施工範囲及び施工によって汚れた生じた範囲 ・ ( )
3 既存壁撤去、下地修繕
既存間仕切り壁の撤去に伴う他の構造体の修繕工法 (6.3.2) (図示による)
表面仕上げ ・A種 ※B種 ・C種 (6.5.1(c)) (表6.5.1)
4 木下地等
木材の含水率 (工事現場輸入時、質量比) (6.5.2(a)(1)) (表6.5.2)
部材、下地材 種類 別
構造材、下地材 ※A種・B種
造作材 ※A種・B種

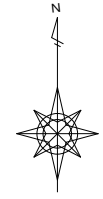
MEMO
TITLE 青山グラウンド便所改修工事
DRAWING 特記仕様書(1)
SCALE No A-01
CHECK
DATE



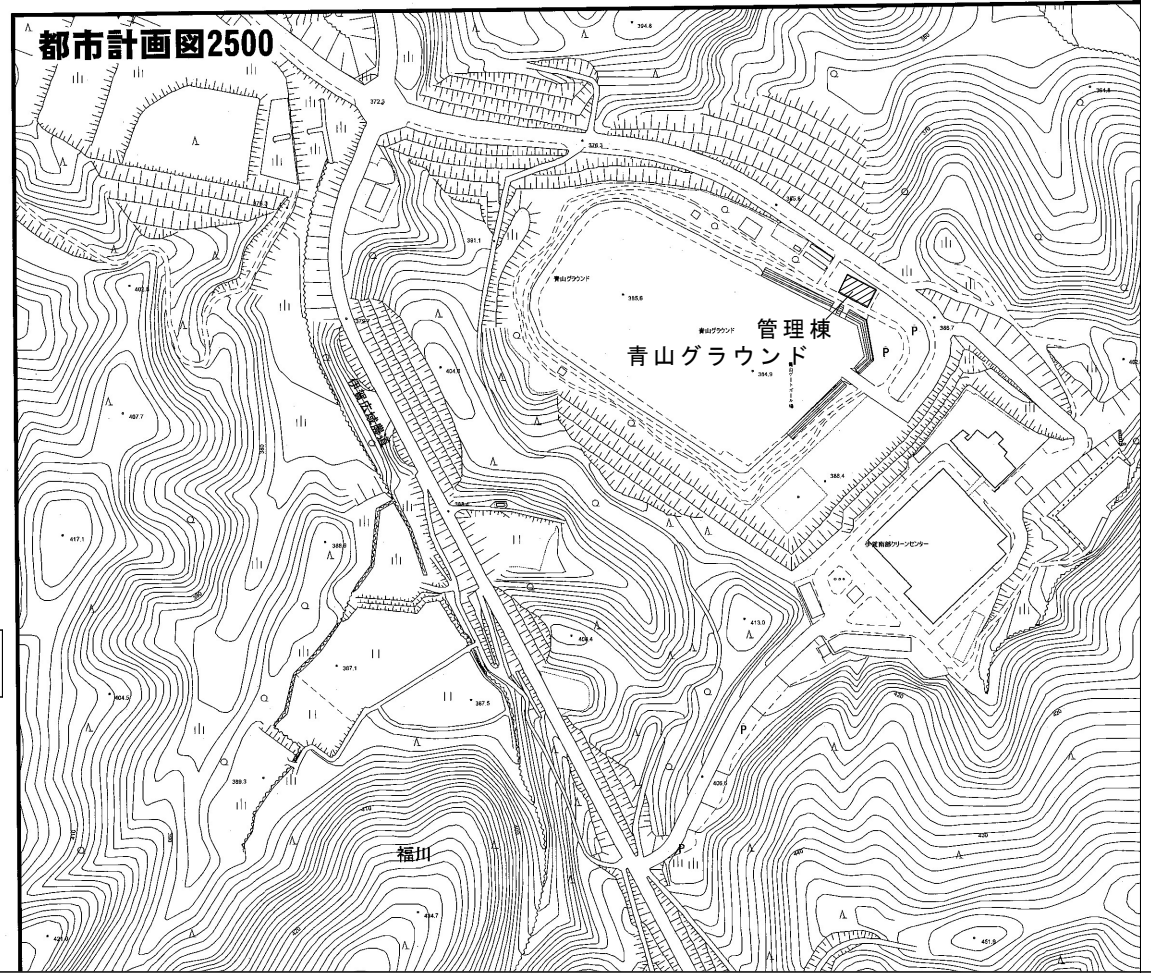
都市計画図10000



青山グラウンド

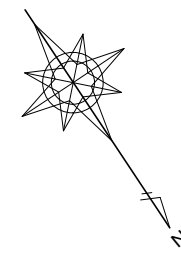
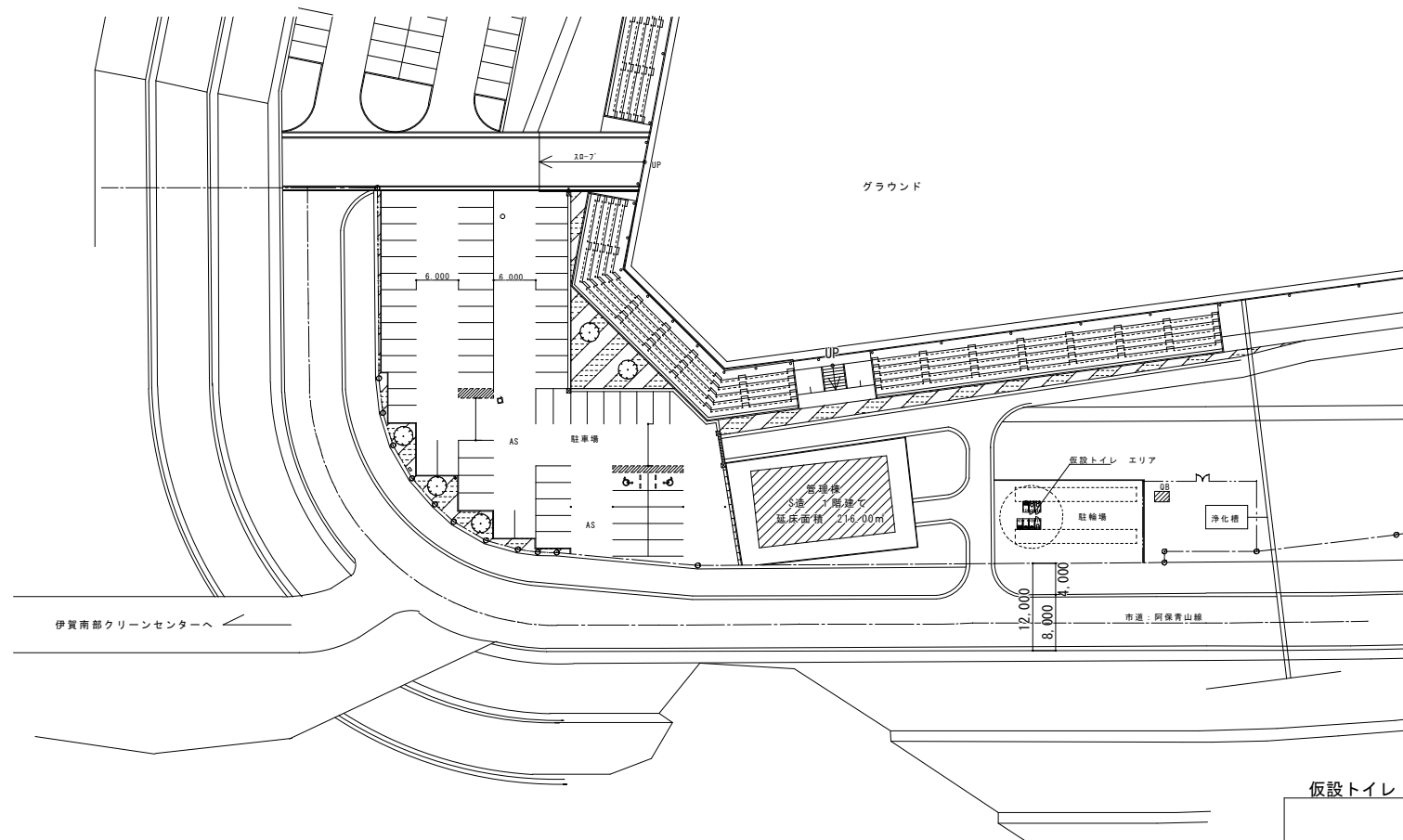


都市計画図2500



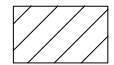
MEMO	TITLE	青山グラウンド便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	付近見取り図	SCALE	S=1/500 S=1/2500	No	A-03
					DATE	

青山グラウンド



伊賀南部クリーンセンターへ ←

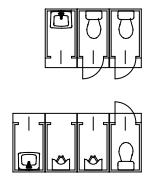
今回工事対象建物を示す。



管理棟 (男子便所、女子便所、多目的便所)

配置図 S=1/500

仮設トイレ (施設利用者用)



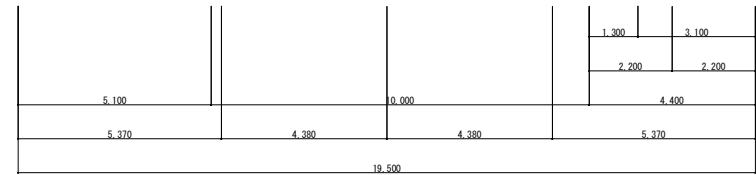
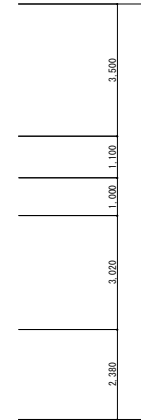
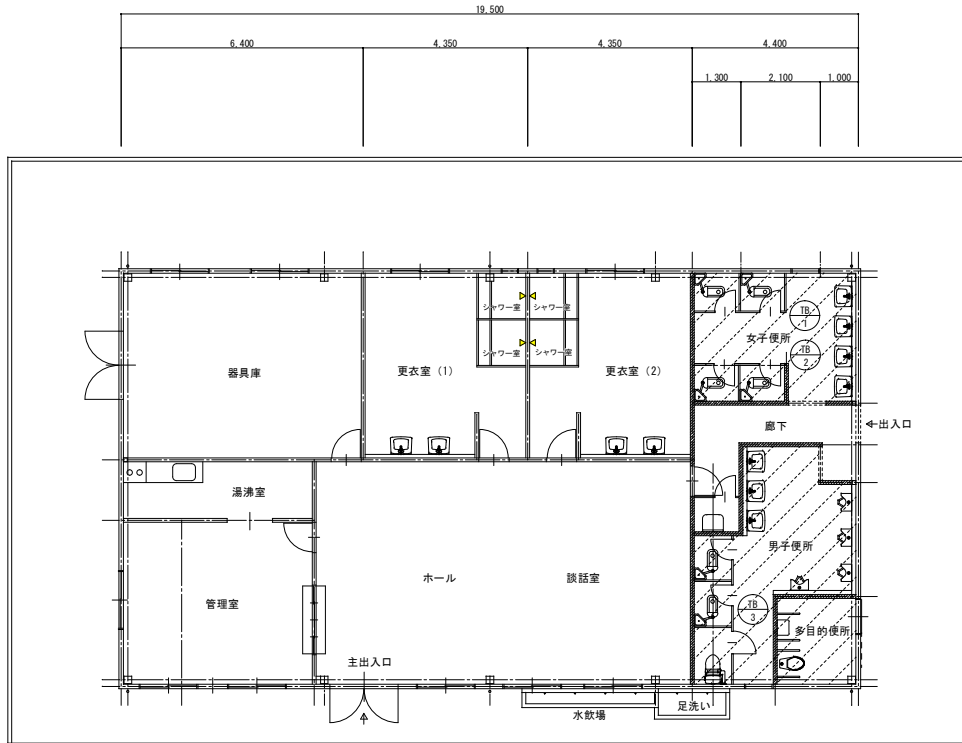
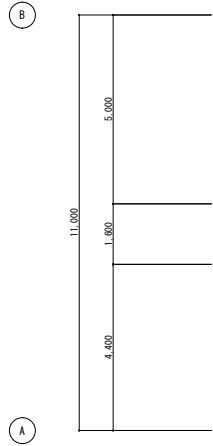
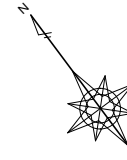
(内容) 水栓タイプ  
 洋式トイレ 3ヶ所  
 小便器 2ヶ所  
 手洗い 2ヶ所

本体設置、撤去 (建築工事)  
 給水、排水管工事 (設備工事)

MEMO	TITLE 青山グラウンド便所改修工事				CHECK	
	DRAWING 青山グラウンド 配置図	SCALE S=1/500	No. A-04	DATE		

青山グラウンド

現況



(現況) 平面図 S=1/100



今回工事を行う便所のヶ所を示す。

現況 女子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LG S下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 現状のまま 一部貼替 和式便器撤去部の 土間はつり工事(ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は 可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレブース全面撤去

注記)  
既設和式便器は全て撤去 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま 一 自動水洗に取替え  
※その他 附属品は設備工事(器具表)による

現況 多目的便所 仕上表

天井	LG S下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 現状のまま 一部貼替 既設洋式便器撤去後の復旧

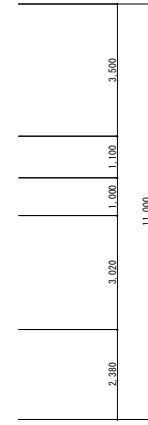
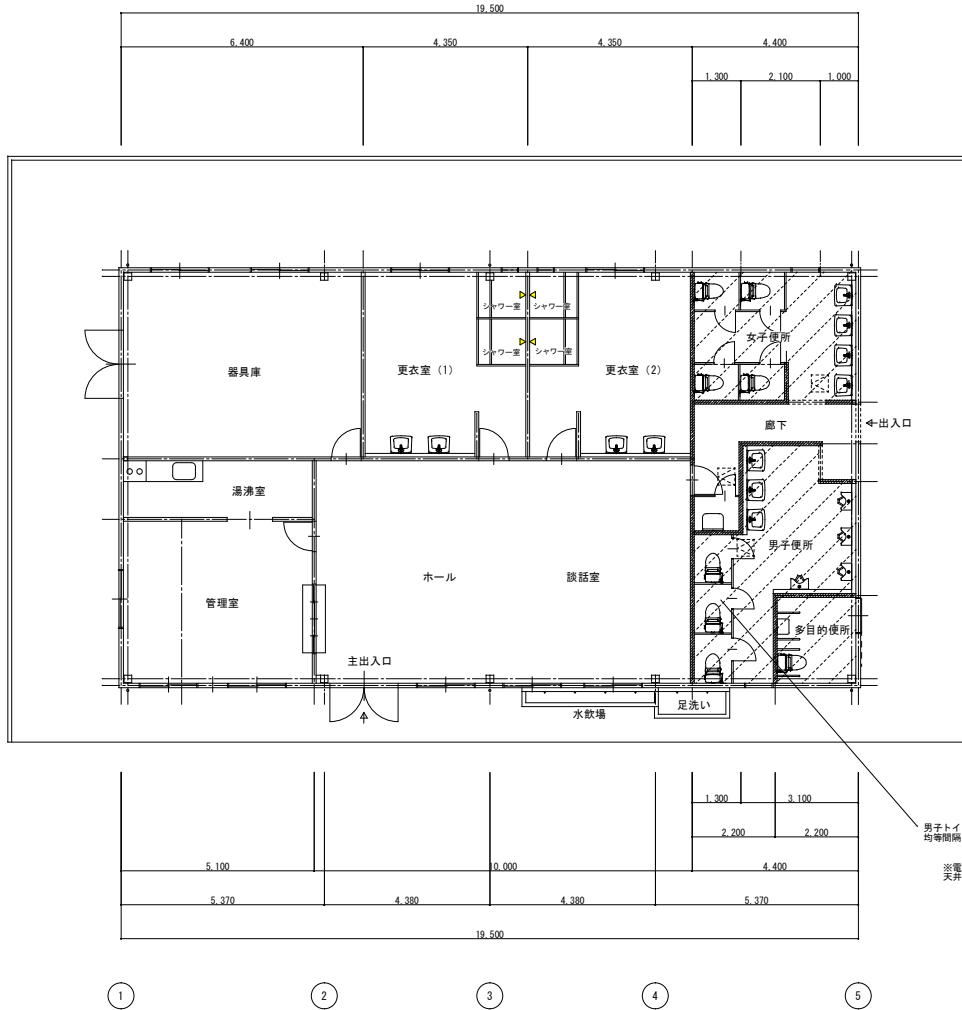
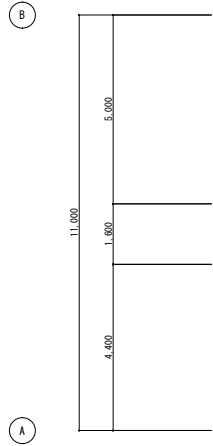
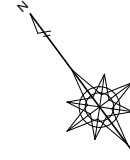
注記)  
既設洋式便器は撤去 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は撤去 洗面器新設 自動水洗付に取替え  
既設手すり、傾斜鏡は現状のまま  
※その他 附属品は設備工事(器具表)による

現況 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LG S下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 現状のまま 一部貼替 和式便器撤去部の 土間はつり工事(ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は 可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレブース全面撤去 (建築工事)

注記)  
既設和式便器は全て撤去 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま 一 自動水洗に取替え  
小便器本体現状のまま (既に自動装置付き)  
※その他 附属品は設備図による

MEMO	TITLE	青山グラウンド便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	(現況) 平面図、仕上表	SCALE	S=1/100	No	A-05
					DATE	



① ② ③ ④ ⑤

(改修後) 平面図 S=1/100



今回工事を行う便所のヶ所を示す。



※天井点検口 アル製450角 3ヶ所

改修後 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま	天井点検口450角新設
廻縁	現状のまま		
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	衛生機器撤去箇所補修	
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま	
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り	和式便器撤去箇所補修 洋式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (はつり撤去の範囲) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース	全て新設 壁取り合いシーリング	

注記)

既設和式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま一自動水栓に取替え  
※その他 附属品は設備工事(器具表)による

改修後 多目的便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま	
廻縁	現状のまま		
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま	
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま	
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り	便器撤去箇所補修	

注記)

既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は撤去後 一洗面器新設 自動水栓付に取替え  
既設手すり、横斜欄は現状のまま  
※その他 附属品は設備工事(器具表)による

改修後 女子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま	天井点検口450角新設
廻縁	現状のまま		
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	衛生機器撤去箇所補修	
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま	
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り	和式便器撤去箇所補修 洋式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (はつり撤去の範囲) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース	全て新設 壁取り合いシーリング	

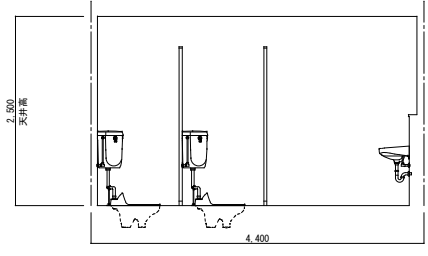
注記)

既設和式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま一自動水栓に取替え  
小便器本体現状のまま (既に自動装置付き)  
※その他 附属品は設備工事による

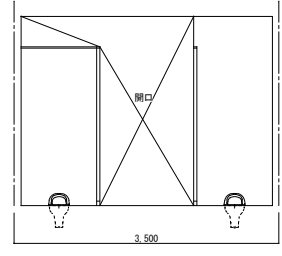
MEMO	TITLE	青山グラウンド便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	(改修後) 平面図、仕上表	SCALE	S=1/100	No	A-06
					DATE	

(現況) 女子便所 展開図 S=1/50

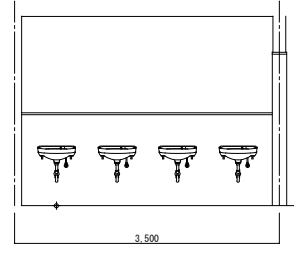
注記)  
既設和式便器は全て撤去  
既設洗面器は現状のまま



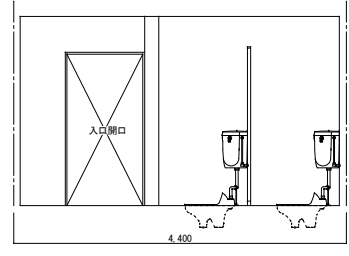
A面



B面 中央部



B面



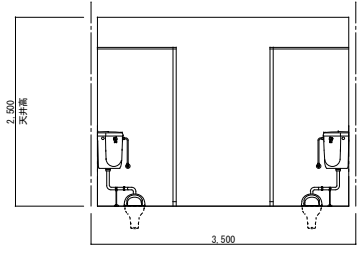
C面

現況 女子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

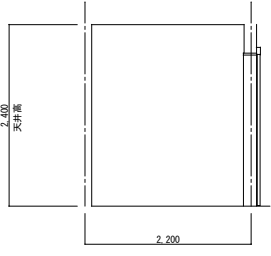
天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 現状のまま 一部貼替 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は 可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレブース全面撤去

(現況) 多目的便所 展開図 S=1/50

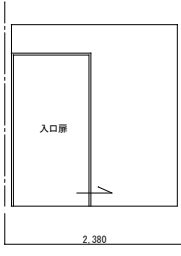
注記)  
既設洋式便器及び洗面器は全て撤去



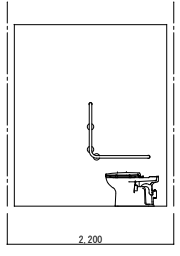
D面



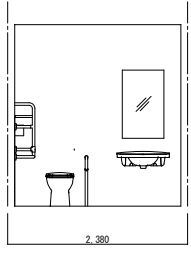
A面



B面



C面



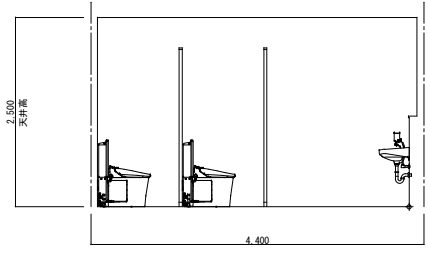
D面

現況 多目的便所 仕上表

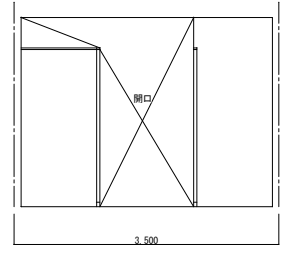
天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 現状のまま 一部貼替 既設洋式便器撤去後の復旧

現況  
↓  
改修後

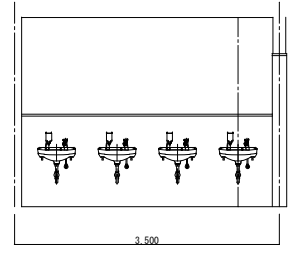
(改修後) 女子便所 展開図 S=1/50



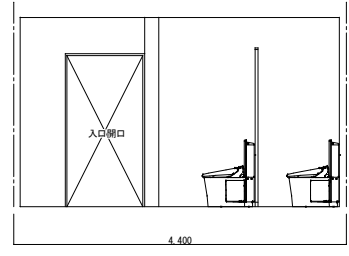
A面



B面 中央部



B面

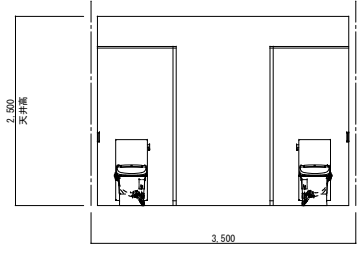


C面

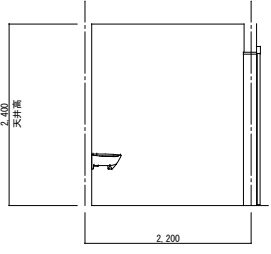
改修後 女子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま 天井点検口450角新設
廻縁	現状のまま
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 衛生機器撤去箇所補修
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 和式便器撤去箇所補修 洋式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (はつり撤去の範囲) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100
備考	トイレブース 全て新設 壁取り合いシーリング

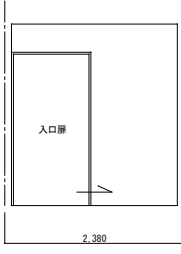
(改修後) 多目的便所 展開図 S=1/50



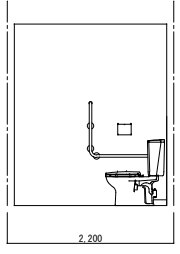
D面



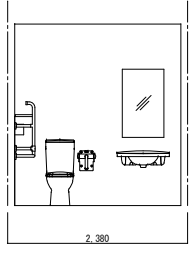
A面



B面



C面

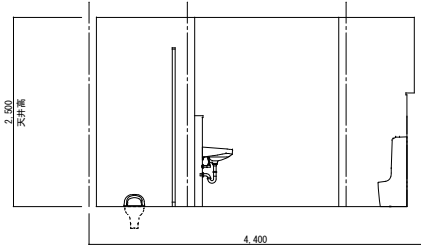


D面

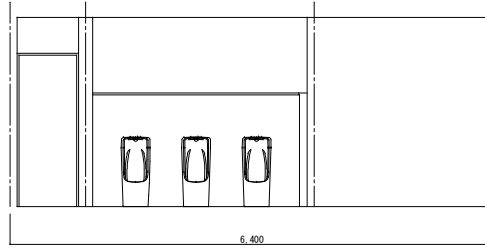
改修後 多目的便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	現状のまま
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル50角貼り 便器撤去箇所補修

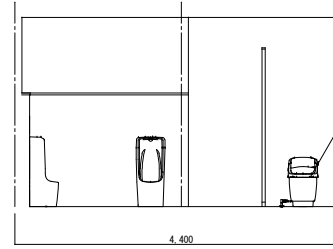
(現況) 男子便所 展開図 S=1/50



A面

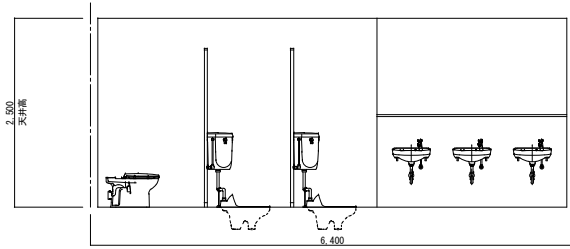


B面 中央部



B面

奥の洋式便器は現状のまま



D面

現況 男子便所 仕上表

※箇中に特記なき限り下記とする。

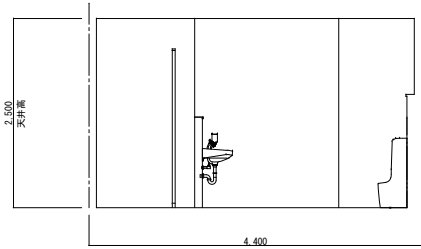
天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	なし	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モサ <sup>®</sup> イタイル50角貼り	現状のまま 一部貼替 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は 可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレブース全面撤去 (建築工事)	

注記)

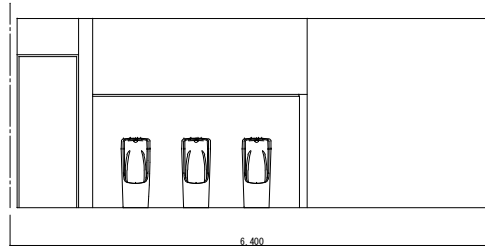
既設和式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え  
小便器本体現状のまま (既に自動装置付き)  
※その他 附属品は設備図による

現況  
↓  
改修後

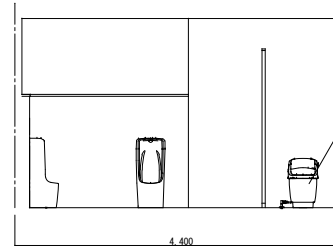
(改修後) 男子便所 展開図 S=1/50



A面

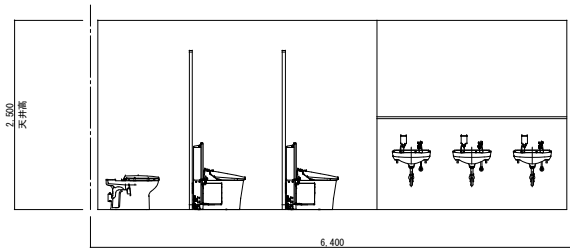


B面 中央部



B面

奥の洋式便器は現状のまま



D面

改修後 男子便所 仕上表

※箇中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま	天井点検口450角新設
廻縁	現状のまま		
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	衛生機器撤去箇所補修	
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま	
床	モルタル下地、磁器質モサ <sup>®</sup> イタイル50角貼り	和式便器撤去箇所補修 洋式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (はつり撤去の範囲) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース 全て新設 (建築工事) 壁取り合いシーリング		

注記)

既設和式便器は撤去後 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え  
既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え  
小便器本体現状のまま (既に自動装置付き)  
※その他 附属品は設備図による

MEMO	TITLE	青山グラウンド便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	青山 展開図2	SCALE	S=1/50	No	A-08
					DATE	



建 具 表 S = 1 / 5 0

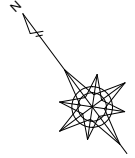
記号・数量	TB-1 女子便所	1ヶ所
要 図		
建 具	トイレブース (市木タイプ)	トイレブース (市木タイプ)
備 考	ポリ合板フラッシュ	メラミン化粧合板
金 物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式
見 込	4 0	4 0
記号・数量	TB-2 女子便所	1ヶ所
要 図		
建 具	トイレブース (市木タイプ)	トイレブース (市木タイプ)
備 考	ポリ合板フラッシュ	メラミン化粧合板
金 物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式
見 込	4 0	4 0
記号・数量	TB-3 男子便所	1ヶ所
要 図		
建 具	トイレブース (市木タイプ)	トイレブース (市木タイプ)
備 考	ポリ合板フラッシュ	メラミン化粧合板
金 物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け SUSあたま笠ぎ、付属金物一式
見 込	4 0	4 0



L-A

# 青山グラウンド

# 改修後



容量 (VA)	負荷名称	開閉器 MCB/AF/AT	番号
	外灯	1P50/20	①
	湯沸室器具庫 管理室電灯	1P50/20	③
	更衣室 トイレ 廊下 照明	1P50/20	⑤
	管理室コンセント	1P50/20	⑦
	ホムコンセント	1P50/20	⑧
	更衣室外部 コンセント	1P50/20	⑪
	ファン・呼出表示 警報盤	1P50/20	⑬
	全熱交換器	1P50/20	⑮

番号	開閉器 MCB/AF/AT	負荷名称	容量 (VA)
②	2P50/20	空調機	
④	1P50/20	ホム 電灯	
⑥	1P50/20	応急室 コンセント	
⑧	1P50/20	湯沸室 コンセント	
⑩	1P50/20	廊下トイレ コンセント	
⑫	1P50/20	外部コンセント	
⑭	1P50/20	機械警備	
⑯	1P50/20	主操作盤	
	1P50/20	外部コンセント	

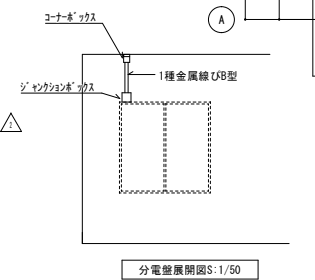
↓ 改修

△ MCB2P50/20ATを  
2P (1PE/ユーロ) 50/20Iに取替

容量 (VA)	負荷名称	開閉器 MCB/AF/AT	番号
	外灯	1P50/20	①
	湯沸室器具庫 管理室電灯	1P50/20	③
	更衣室 トイレ 廊下 照明	1P50/20	⑤
	管理室コンセント	1P50/20	⑦
	ホムコンセント	1P50/20	⑧
	更衣室外部 コンセント	1P50/20	⑪
	ファン・呼出表示 警報盤	1P50/20	⑬
	全熱交換器	1P50/20	⑮

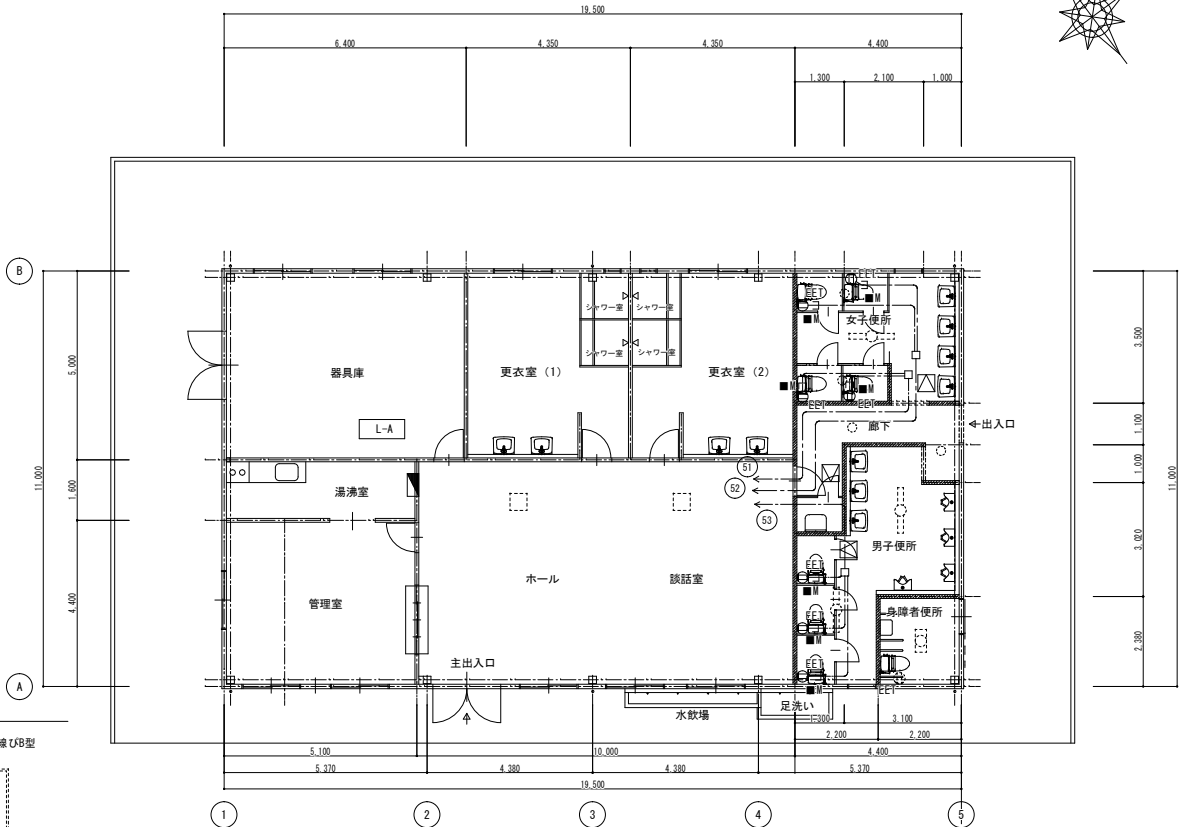
番号	開閉器 MCB/AF/AT	負荷名称	容量 (VA)
②	2P50/20	空調機	
④	1P50/20	ホム 電灯	
⑥	1P50/20	応急室 コンセント	
⑧	1P50/20	湯沸室 コンセント	
⑩	1P50/20	廊下トイレ コンセント	
⑫	1P50/20	外部コンセント	
⑭	1P50/20	機械警備	
⑯	1P50/20	主操作盤	
	1P50/20	外部コンセント	



ELCB2P (1PE/ユーロ) 50/20AT  
3個増設

### 凡例

- x--- MCB1P50/20AT (既設)
- x--- ELCB2P (1PE/ユーロ) 50/20AT
- 回路番号
- ⑩0 =200V    ⑩0 =100V



(改修後) 平面図 S=1/100

注記)  
1・特記なき配管配線は下記による。  
 :EM-EFF2 0-3C(1C-E)  
 :EM-EFF2 0-3C(1C-E) 立下り1種金属線ぴ(A型)  
 ..... 破線表記は既設機器配線を示す。  
 天井内ところがし配線とする。  
 ● 眞印 部=コナリテ貫通箇所を示す。

記号	名称	備考
	電灯分電盤	既設分電盤
	照明器具 直線型	既設
	壁付コンセント 2P15Ax1, 接地極, 接地端子付	
	ジャンクションボックス	VA用
	天井点検口	建築工事

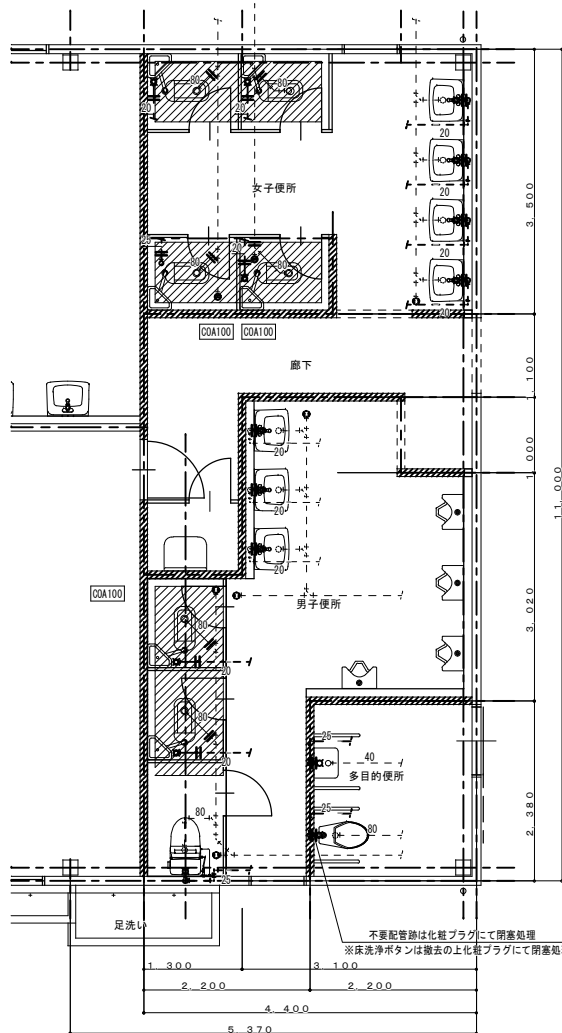


青山グラウンド

図示記号

記号	名称
—— — — —	給水管
—————	排水管
□	給水栓
⊙	排水金物
○ ⊕	床上掃除口

衛生器具表			青山グラウンド											
名称	参考品番	付属品	男子便所				女子便所				多目的便所			
	上段：TOTO 下段：LIXIL													
洋風便器 ① リモデル	CFS498BM BC-P110H	TCF5524AE (ウォシュレット 手かざし洗浄) DQ-PA150CH (ロータンク), CW-PA11FL-NE (ウォシュレット), 322-1165-880, A-10476, CWA-278, CF-020SET, CF-200S	2				4							
棚付2連紙巻器	YH650 CF-AA64		3				4				1			
便座交換 (ウォシュレット)	該当なし CW-PA11FL-NE	OKC-A50S, CF-008-1	1											
洗面用自動単水栓	TENA40AW AM-300C	(発電式) TN74-2R (既設取替用脚) TN65LX40 (フレキ管) 発電式	3				4							
横水栓	T28AKUH13 LF-15G-13-CV		1				1				1			
便座クリーナー用 ディスプレイ	SC-460		3				4				1			
多目的便器 リモデル	CS597BMS BC-P110H	SH596BAR, TCF5524AEP (ウォシュレット 手かざし洗浄 フタ無し) DQ-PA150CH, CW-PA11FL-NECK (ウォシュレット フタ無し), CWA278 (手かざしスイッチ), CF-020SET, 322-1165-880, A-10476, CF-200S									1			
車いす用洗面器	L103DMP L-365APRS	TENA40AW (発電用自動単水栓), TLD S2206J, TL220D, TS126AR (水石けん入) AM-300C (発電用自動単水栓), LF-96PA, SF-10E, KF-24F (水石けん入)									1			



4 現状平面図 S=1/50

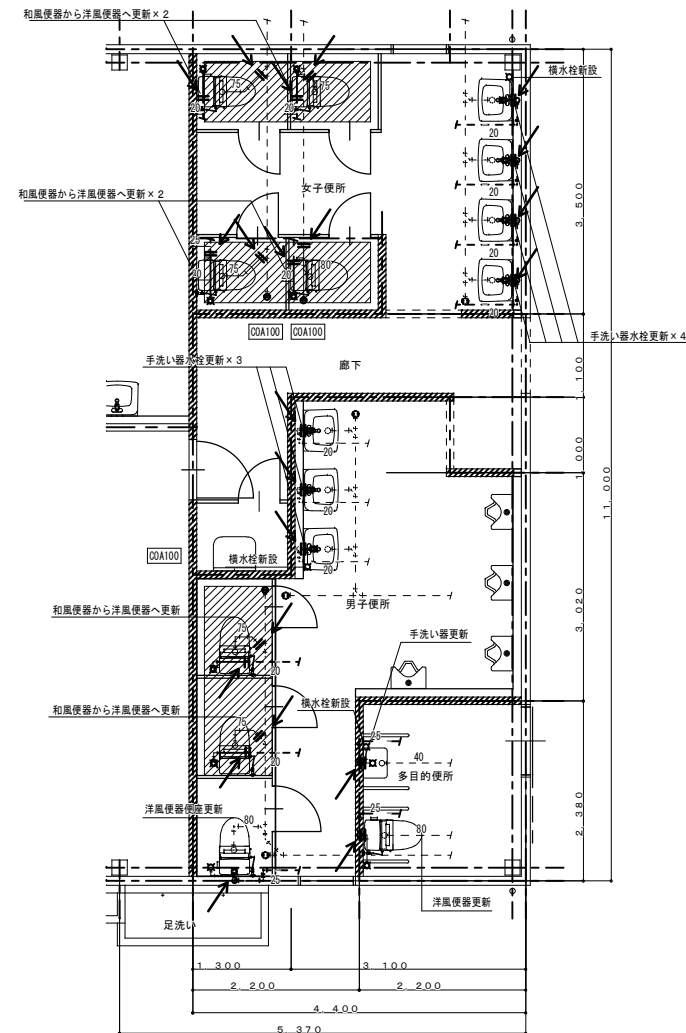
凡例	
既設配管を示す (撤去)	——
既設配管を示す (残置)	- - - -
既設配管切断箇所を示す	=
土間削り範囲を示す (建築工事)	▨

※既設配管跡は、化粧プラグにて閉塞処理を行う  
※器具取付ビス後の補修を行う事 (シ+補修程度)

女子便所 既存機器表			
和風便器	コーナーシンク×3	4	撤去
紙巻器		4	撤去
手洗い水栓		4	撤去

男子便所 既存機器表			
和風便器	コーナーシンク	2	撤去
紙巻器		3	撤去
洋風便器便座		1	撤去
手洗い水栓		3	撤去

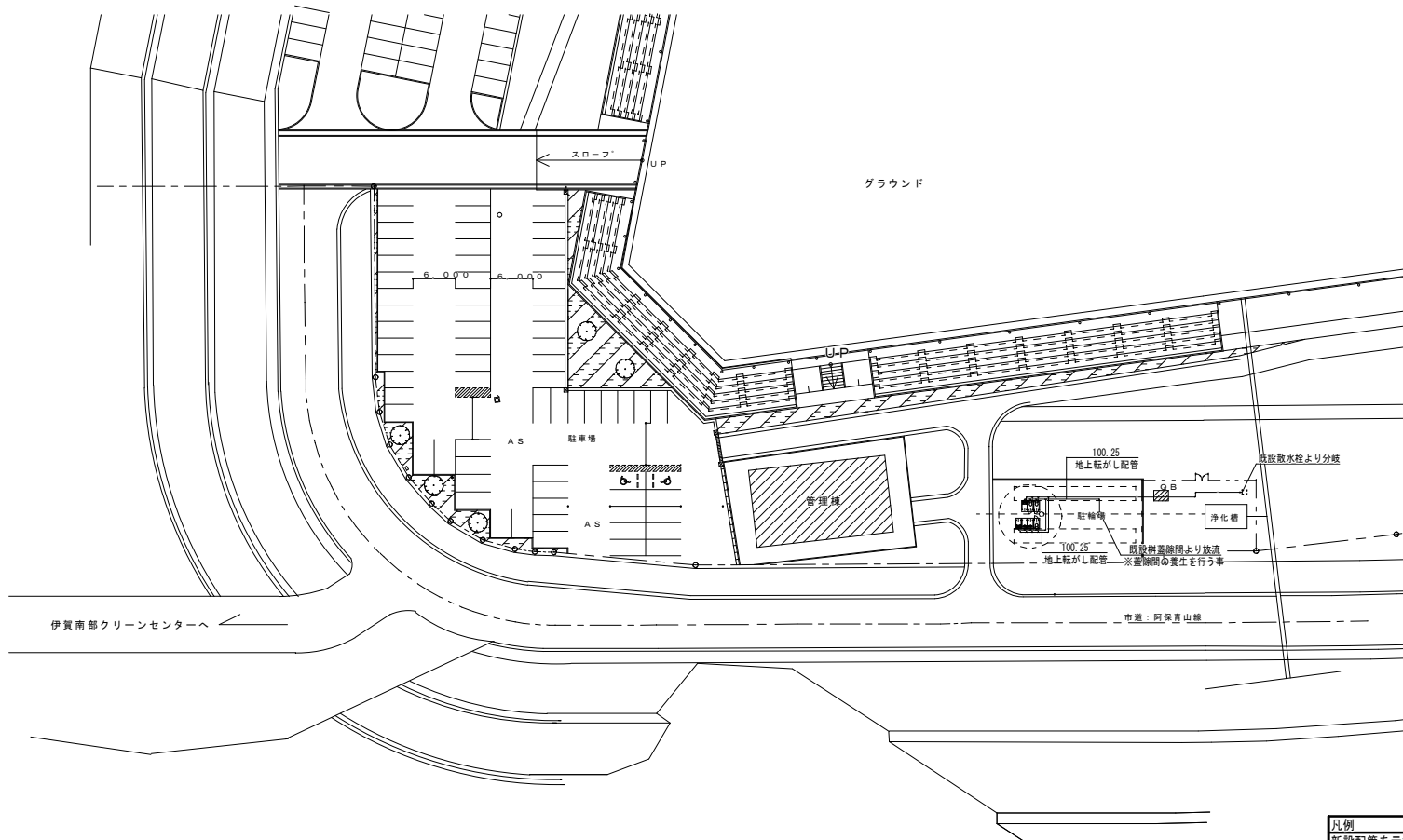
多目的便所 既存機器表			
洋風便器		1	撤去
紙巻器		1	撤去
手洗い器		1	撤去



4 改修後平面図 S=1/50

凡例	
新設配管を示す	——
既設配管を示す	- - - -
既設配管接続箇所を示す	→

青山グラウンド



凡例	
新設配管を示す	——
仮設配管を示す	- - -
既設配管接続箇所を示す	→

※仮設排水管VP・給水管HVPとする  
 ※工事後仮設配管の撤去を行う事、又支持等のビス跡の補修を行う事  
 ※給水管は保温を行う事（ライトカバー）

配置図 S=1/500

MEMO	TITLE	青山グラウンド便所改修工事		CHECK	DATE
	DRAWING	仮設図（給排水衛生設備）	SCALE S=1/500 No M-4		